

市政に対する

一般質問

今定例会では、11人の議員が9月5日、6日、7日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- 1歳6か月児健康診査に社会性発達評価「視線計測装置」導入について
- 徘徊高齢者の早期発見対策について
- プログラミング教育について

本田謡子議員

- 道徳教育の充実について
- 学力向上の取組みについて
- 水害から守る防災対策について

青木章議員

- 小中学校のエアコン設置について
- 幸手市さくらマラソンについて
- 幸手中央地区産業団地について

木村治夫議員

- 総合治水対策の推進について

小林順一議員

- 若者の街づくり提案について
- 若年層の定住化について

宮杉勝男議員

- デマンド交通の成果について
- 商店街の活性化について

小河原浩和議員

- 3回目の成人式とその後の市の受け入れ態勢について

松田雅代議員

- 埼玉県学力向上パワーアップ事業と市の取り組みについて
- 定住促進、住宅・雇用・活性化対策について
- 空き家対策について
- 内水被害改善対策について
- 第6次総合振興計画策定事業の進捗について
- 緑地を活用した幸手市の魅力アップ構想について

中村孝子議員

- 幸手を表現する映像の作製について
- 幸手音頭・市民歌「しあわせ風景」等、市を象徴する歌について
- 市制施行30年とこれからの市政30年について

大平泰二議員

- 公文書管理と説明責任について
- 中島用悪水路土地改良区の補助金2重申請について
- 治水対策
- 市長が自ら身の潔白を証明出来ない6月議会の答弁について

武藤壽男議員

- 惣新田菅島地内の開発問題について
- 市長の職務責任と職員の責任、国内不在時の緊急事態に対する危機対応について

徘徊高齢者の早期発見対策は



小林啓子議員

Q 各自治体の中には、スマートフォン等を使用してQRコードを使った身元確認ができる事業を行っている。幸手市としても取り入れてはどうかを伺う。

A スマートフォン等を使用してQRコードを使った身元確認ができる仕組みは、平成27年度の幸手市高齢者・障害者地域見守り支援ネットワーク全体会において実施した「声かけ模擬訓練」の中で検証を行い、その結果、効果や使用に不安のある意見が多数あったため、導入を見送った経緯がある。

後も引き続き各自治体の事例を研究し、検討していく。
(健康福祉部長)



水害から守る防災をわかりやすく



本田謡子議員

Q 水害の被害軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・経路などの防災関係施設の位置などを標示した地図として、幸手市には、洪水ハザードマップと内水ハザードマップがある。そこで、それぞれの現状を伺う。また、これからは市民にわかりやすい水害についてのハザードマップ

A 洪水ハザードマップは、3日間で総雨量318mmを想定し、一番甚大な被害となる利根川が決壊した場合には、市内全域が浸水し、一番深い所では2mから5mの浸水が想定される状況等を表示している。内水ハザードマップは、平成22年度から26年度にかけての5年間に発生した浸水実績をもと

に作成している。今後、洪水ハザードマップを更新する際には、内水ハザードマップも併せたものを作成できるか検討したい。

(市民生活部長)



学校のエアコン設置における対応について



青木 章議員

Q

夏の猛暑による児童・生徒の熱中症等健康被害を防ぎ、授業に集中し学習意欲の向上を図るために、小・中学校の普通教室等にエアコンを設置いたしました。しかしながら、児童・生徒のエアコンの冷えぐあいに対しての感じ方には、個人差があると思います。適切な対応をお願いします。また、

A

エアコンを導入したことにより夏期においても教室は、快適な環境が整ってきました。そこで学力アップのための授業日数を土曜日を含めて確保できないか伺います。

教育委員会が策定した「エアコン運用マニュアル」において、エアコンを使用する際は、児童・生徒の健康管理に十分配慮するよう各学校にお願いをしています。また、各教室

(教育次長)

で個別に温度や風量・風向きなどが設定できるため、学校で柔軟に対応し、児童・生徒の健康を最優先するよう、議員ご指摘のとおり再度お願いしてまいります。なお授業日数の確保については、今後、検討委員会を設置し、土曜授業の日数・夏季休業日の期間等を含め検討していきます。

市の総合治水対策の推進を問う



木村治夫議員

Q

7月4日台風3号通過にともない、市内各所で道路冠水、建物の床下・床上浸水被害が発生し、市民は大雨が降るたびに不安に駆られている。内水被害排除対策また雨水が溜まる常習場所調査による改善・修繕等対策を問う。3月定例会にて埼玉県知事に提出した近隣市町連携の治水・排水対策事業

A

の促進を求める意見書について県との協議について問う。緊急時排水路確保について問う。

内水被害対策については、東2丁目・緑台2丁目の地域では下水道事業による調整池を検討していく。また、排水路の狭小箇所改修も併せて行なう。県への意見書については、意見書が後押しとなり、河川・下水道事業調整協議会の担当者会議において、関係する杉戸町、

久喜市も参加し協議が行えるようになった。中5丁目地区から要望のあった土地改良区の水路への緊急排水については、効果の検証を行い、これを踏まえてさらに協議したい。

(建設経済部長)



若者による街づくり提案の促進を



小林順一議員

Q

子ども議会が毎年実施されているが、子ども達の意味表明実現の機会を提供するためにこの議会を開催し、その成果が期待されているが主だった成果を伺う。幸手市の子ども議会は小学生が対象だが、中学生も対象とする事も提案をするが所見を伺う。

若者からの街づくりに関する

A

子どもたちが、自分の住むまちの姿を見つめ、意見や希望を提言することは、大変貴重な経験であり、子ども議会の実施自体こそが大きな成果であると考えているものである。



(総務部長)

また、中学生の参加については、意義のあるものとして実施に向けた協議をしていきたい。

現在、街づくりのアイデアを提案する若者を対象にした補助事業は実施していないが、今後、本事業について調査研究を行ってまいりたい。

デマンド交通の成果について



宮杉勝男議員

Q

①平成28年度の利用人数および売上を伺う。

②現在までの意見や要望の内容および対応を伺う。

③今後、増車および料金改正の予定はあるか伺う。

④現行のシステムがうまくいっているとは思えず、抜本的な改正をするべきである。例えば、現在使用している車を以前のよ

A

①平成28年度のデマンド交通の利用人数は1万1088人、利用者運賃収入は22万4900円である。

②主な意見や要望は、「希望の時間に予約がとれない」「循環バスより不便である」という内

容であり今後は地域公共交通会議で協議していく。

③増車はせずに、1便あたりの乗合率を高めていく。料金の見直しを検討する予定はない。

④今後は利便性を高めるため、幸手市のあるべき公共交通体系を検討していく。

(市民生活部長)



松田雅代議員

5万人アンケートの実施を提案する

Q

幸手市の最上位計画である「総合振興計画」が更新の時期となっている。市は、

今年度と来年度の2か年をかけて新しい計画を策定する方針だが、私たちを取り巻く環境は10年前とは大きく変化している。総合振興計画は将来の10年を見据えた計画である。この計画の善し悪しで将来の幸手市の姿

A

が決まる。責任は重大である。策定に際し、まずは回答可能な年齢以上の市民全員を対象に『5万人アンケート』を実施してはどうか。市の考えを伺う。

市民意識調査については、すべての市民から無作為に抽出により、2000名を対象に実施する予定である。対象者数については、回収率を50%と見込んだ場合、統計学的に信頼性のある標本数の条件を満たす

回答が十分に得られる対象者数としたものである。アンケート調査では、対象者数を増やすより、回収率を向上させるほうが実態を反映した調査結果が得られるとされており、市民の意識やニーズを的確に把握できる設問を検討し、調査を実施するものである。

(総務部長)



小河原浩和議員

3回目の成人式開催について

Q

60才(還暦)を迎えて、多くの皆さんが定年され、

会社中心の生活から、家族や地域を中心とした生活に変化されると思う。しかし、皆さんそれぞれお若く元気です。

そこで、還暦をお祝いするとともに新たな第二の人生をいきいきと充実した生活をして頂く「きっかけ」となる3回目の成

A

人式を、提案して参りました。3回目の成人式開催の具体的な日時と内容を伺う。

3回目の成人式につきましては、昨年度に60歳になられた方を対象に、「還暦式」という名称で、11月23日木曜日、勤労感謝の日に、午後2時から北公民館を会場として開催する方向で、現在、準備を進めております。内容としましては、還暦をお

迎えになった皆様をお祝いする式典を始め、今後の生きがいづくりに関する情報の提供、更には旧交を温める機会を提供し、楽しく有意義に過ごしてもらえよう考えております。

(教育次長)



市制施行30年とこれからの市政30年について



中村孝子議員

Q 昨年28年に市制施行30年の記念事業が展開されました。この30年は人口が増え発展した期間でした。しかし、今後、人口減少が進むことは間違いありません。そこで次の30年に向けた市政について、人口減少をどうとらえ、それに合わせた農業商業住環境どんな街づくりをするのか、時代に合った職

員の育成は。30年後の幸手市像をどう考えているのか市長に伺う。

A 人口減少問題は重要な課題であり、人口減少対策として若者の定住促進や子育て環境の整備、雇用創出等の施策を引き続き実施する。30年後のまちづくりでは、圏央道幸手ICの開通や幸手駅橋上化、駅西口開発に伴うまちのにぎわいの創出、産業振興、特色ある農産物

による農業施策と積極的な移住・定住促進等の施策を進めると共に、行政を担う職員の人材育成の推進等、限られた資源を最大限に活用し、まちの活気を失わず、常に市民が幸せを感じられる都市を創っていく所存である。

(市長)

補助金二重請求と公文書偽造は認められない



大平泰二議員

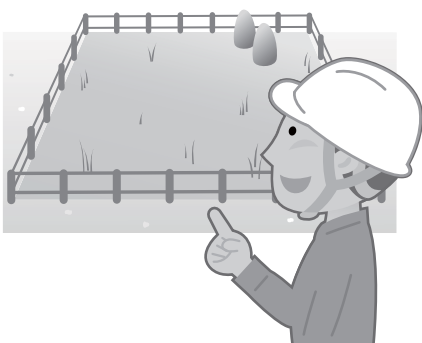
Q 中島用悪水路土地改良区が、県土地改良事業団対連合会から補助金を受けた事業を同改良区は公文書を偽造し、それを「単独事業」にして、補助金を市に申請している。これは同一事業の二重申請にあたり認められない。二重申請をチェック出来なかった原因と返還額について具体的対応を伺う。

A 市へ補助金交付の申請がされた際、土地改良区からは単独事業であるとの説明を受けており、また、申請書の内容からは他からの補助を受けているかどうかを把握することは困難であった。

県や土地改良区に確認したところ、申請された事業の一部について、補助金と同様に取り扱うべき交付金が交付されていたことが判明したため、今後幸手市補助金等の交付に関する規則

に基づき調査等を行い、適切に対処したいと考えている。

(建設経済部長)



9月定例会 会期日程

- 9月4日（本会議）
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 9月5日・6日・7日（本会議）
 - ・市政に対する一般質問
- 9月13日（本会議）
 - ・議案に対する質疑
 - ・議案の委員会付託
- 9月14日・15日（委員会）
 - ・文教厚生常任委員会
- 9月19日・20日（委員会）
 - ・総務常任委員会
- 9月21日・22日（委員会）
 - ・建設経済常任委員会
- 9月29日（本会議）
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・閉会

9月定例会

傍聴者

32人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数
インターネットを利用した議会中継
(ライブ及び録画)を行っております。

7月	178件	8月	156件	9月	3248件
----	------	----	------	----	-------

の方が視聴されました。

12月定例会のお知らせ

11月30日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.city.satte.lg.jp/>

議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。



武藤寿男議員

除外申出書の市長名の誤記載と対応は

Q

菅島地区の開発に伴う農用地からの除外を求める申出書が、開発業者から、平成24年度と平成26年度の二回にわたり、代理人より提出された。この宛先が二回とも前市長名となっており、受付印が押され受理されていた。こうしたミスを担当職員、課長を始め、部長など決裁者が気

A

文書の取り扱いについて、誤りの補正を求めないまま処理されたことにより、市民の信頼を損ねることになったことについては、大変申し訳なく思う。事務を行う職員の意識、チェ

ツクの体制などミスを防ぐ手立てが十分でなかったと考えており、担当課はもちろんのこと、全庁的に注意喚起が行われた。今後は、ミスを防止できるように、職員の意識改革を図るとともに、処理方法の見直しに努め、事務処理に万全を期していく。

（建設経済部長）